



2017（平成29）年9月27日

各 位

会 社 名 J X T Gホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 内田 幸雄  
コード番号 5020 東証・名証第1部  
問合せ先 財務IR部 IRグループマネージャー  
日暮 達也  
(電話番号 03-6257-7075)

### 当社子会社石油・石油化学製品の生産・供給体制の再構築について

当社子会社のJXTGエネルギー株式会社(社長:杉森 務)は、2019年3月末をもって、室蘭製造所(所長:豊永信広)での石油製品および石油化学製品の生産を停止したうえで、同年4月より、北海道を中心とした石油製品の物流拠点(出荷基地)として事業を再構築(以下、「事業所化」)することを決定しましたので、お知らせいたします。

国内石油製品の構造的な需要減退やアジアを中心とした国際競争が激化するなど、石油業界を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、本年4月のJXエネルギー株式会社と東燃ゼネラル石油株式会社との経営統合により、当社は国内16カ所に製油所・製造所を有することとなりました。

このような中、統合以降、安全・安定操業および安定供給を前提にさらなる競争力強化を図るべく、製油所・製造所の新たな最適生産・供給体制について様々な検討を重ねた結果、今般、室蘭製造所の事業所化が必要であるとの結論に至りました。

JXTGエネルギー株式会社は、コア事業である石油製品・石油化学製品事業におけるサプライチェーン全体の競争力強化、さらにはアジア諸国との国際競争にも打ち勝てる基盤を早期に構築すべく、今後も安定供給を前提に最適な生産・供給体制の構築を推進してまいります。

なお、本件による平成30年3月期連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」

当社石油・石油化学製品の生産・供給体制の再構築について

2017年9月27日

各位

JXTGエネルギー株式会社

## 当社石油・石油化学製品の生産・供給体制の再構築について

当社（社長：杉森 務）は、2019年3月末をもって、室蘭製造所（所長：豊永信広）での石油製品および石油化学製品の生産を停止したうえで、同年4月より、北海道を中心とした石油製品の物流拠点（出荷基地）として事業を再構築（以下、「事業所化」）することを決定しましたので、お知らせいたします。

国内石油製品の構造的な需要減退やアジアを中心とした国際競争が激化するなど、石油業界を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、本年4月のJXエネルギー株式会社と東燃ゼネラル石油株式会社との経営統合により、当社は国内16カ所に製油所・製造所を有することとなりました。

このような中、統合以降、安全・安定操業および安定供給を前提にさらなる競争力強化を図るべく、製油所・製造所の新たな最適生産・供給体制について様々な検討を重ねた結果、今般、室蘭製造所の事業所化が必要であるとの結論に至りました。

室蘭製造所は、2014年の原油処理停止以降も、石油化学製品を中心とした生産拠点として、高機能化・高付加価値化を追求するとともに、石油製品の重要な物流拠点として、灯油をはじめとする石油製品の安定供給に努めてまいりました。今後も備蓄タンク的能力増強を行うなど、北海道を中心とした石油製品の安定供給に向け、万全の体制を構築いたします。

当社は、コア事業である石油製品・石油化学製品事業におけるサプライチェーン全体の競争力強化、さらにはアジア諸国との国際競争にも打ち勝てる基盤を早期に構築すべく、今後も安定供給を前提に最適生産・供給体制の構築を推進してまいります。

### <今後のスケジュール>

2019年3月31日 全製造設備を停止

2019年4月1日～ 室蘭事業所として運営開始

[主な事業内容] 石油製品の受入・備蓄・出荷（油槽所機能）

### <室蘭製造所の概要>

#### 1. 所在地

北海道室蘭市陣屋町一丁目172番地

#### 2. 沿革

1956年 「室蘭製油所」操業（原油処理能力：7,500バレル/日）

1973年 原油処理能力を110,000バレル/日に増強

1999年 原油処理能力を196,000バレル/日に増強

2001年 原油処理能力を180,000バレル/日に削減

2008年 キュメン製造設備を新設（石油化学製品原料）

2014年 原油処理停止、「室蘭製造所」へ名称変更

以上

### <JXTGエネルギーの製油所・製造所体制>

● 製油所11拠点

原油処理能力：合計1,929.5千B/D

\* 下図の各製油所の数字は2017年3月末時点の原油処理能力

▲ 製造所5拠点

